

ていきます。そして、地元ボランティアの方々のご協力により、植込み、草刈り、施肥などを行います。10月ごろには、東三河植樹祭の開催を予定しています。

地域の憩いの場として、また観光名勝として、愛され親しまれる松原づくりを目指します。

## ごみの処理及び資源化、減量化

### クリーンセンター

#### バグフィルター取替

クリーンセンターでは、毎日休むことなく、家庭から出るごみを燃やしています。ごみを燃やせば必ずダイオキシンを含む排ガスが発生しますが、その排ガスの中から有害な物質を取り除くために、バグフィルターという集塵装置が活躍します。

このバグフィルターの交換時期がきましたので、これを取り替えることにします。

## 生活排水対策及び快適な都市環境づくり

### アオサ活用方法の検討

富栄養化の著しい三河湾では、春から夏にかけて大量に発生した

アオサが砂浜に打ち上げられ、波打ち際の景観を損ねるとともに腐敗臭を放ちます。

このアオサについて、堆肥化などの有効活用方法の検証を続けるとともに、三河湾を通じた循環型社会構築に向けた市民参加型イベントやシンポジウムなどを実施していきます。

## 明るく元気なまち蒲郡

## 産業の振興と経済の活性化

### 観光ビジョン事業

昨年12月に「蒲郡市観光ビジョン」が策定されました。ここでは、観光蒲郡のあるべき姿として「市民の市民による市民のための「観光交流都市」育て」を目標に掲げています。

市民、地場産業界、行政そして観光業界が交流・連携を深め、新しい「観光蒲郡」のイメージの創出や、的確なマーケティングに基づく事業を推進し、蒲郡の総合力による観光振興を進めていきます。

### くらふとフェア蒲郡開催事業

現代の暮らしは機械で大量生産されたモノに溢れていますが、素

材を大切にしたぬくもりある仕事のモノづくりも見直されつつあります。しかし、安い輸入製品の増加などにより、地域の地場産業は厳しい状況におかれています。

そこで、手仕事でモノづくりをしている作家さんたちを一堂に集め、作り手と使い手の交流の場として、また地域の地場産業を見直す場として、そして新たな観光資源のひとつとするために、11月に「くらふとフェア蒲郡」を開催いたします。

## 文化の薫るにぎわいあるまちづくり

### 愛知万博関連事業

3月25日より開幕した愛知万博会場にて、地場産業である繊維を活かしたファッションショーや地元郷土芸能であるちゃらばこ太鼓を披露するほか、三谷祭の山車も出展します。フレンドシップ事業として、交流相手国であるポーランドおよびバヌアツとの交流事業を盛り上げていきます。

また、愛・地球博パートナーシップ事業としてEITUトライアスロン世界選手権の開催を強力に支援していきます。

## 人と情報が行き交うまちづくり

### 水源林保全流域協働事業

水の安定供給のための広域的な組織である財団法人豊川水源基金において、今年度より東三河17市町村が一体となり、山林に関わる人材育成や間伐推進などを行う水源林保全流域協働事業を実施することになりました。このため、水の大切さの啓発や水源林保全を目的として設置した蒲郡市水道水源基金を通じて支援していきます。

